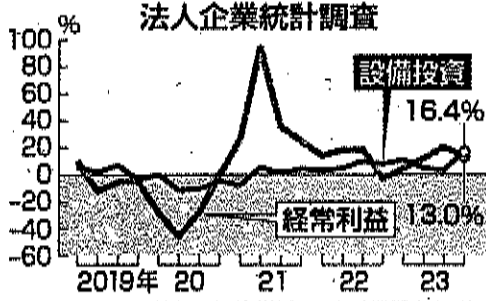


# 内部留保530兆円に

## 10〜12月期過去最高を更新

財務省が4日発表した2023年10〜12月期の法人企業統計によると、資本金10億円以上の大企業（金融・保険業を含む）の内部留保は5300.5兆円と過去最高を更新しました。

第2次安倍晋三政権が発



（四半期ベース、前年同期比増減率、金融機関を除く）

足した12年10〜12月期からの推移をみると、経常利益は9.7兆円から18.6兆円へと1.93倍に増加、内部留保も320.4兆円から5300.5兆円へと1.66倍に増加しています。

また役員報酬は同じ期間に年換算で1733万円から2191.1万円へと1.26倍に増加しました。一方、賞金は12年の5883.7万円から23年は6555.9万円へと1.12倍増にとどまりました。

全産業（金融業と保険業を除く）の経常利益は前年同期比13.0%増加しました。増益は4四半期連続。設

備投資（ソフトウェア投資を含む）は半導体けん引され16.4%増と過去3番

目の高い伸びを示し、金額としては10〜12月期で過去最高を更新しました。

経常利益額は25兆2754億円で、10〜12月では最高でした。内訳を見ると、製造業が19.9%増の8兆8584億円で、2四半期ぶりのプラス。部品の供給制約の緩和を背景に自動車な

ど輸送用機械が80.7%増と好調でした。非製造業は9.5%増の16兆4170億円で、12四半期連続のプラス。コロナ禍の行動制限緩和で入出が増え、インバウンド（訪日客）需要も回復しました。

設備投資額は14兆4823億円で、増加は11四半期連続。製造ラインの拡張や生産体制強化に取り組み半導体メーカーなど情報通信機械が大幅に増えました。